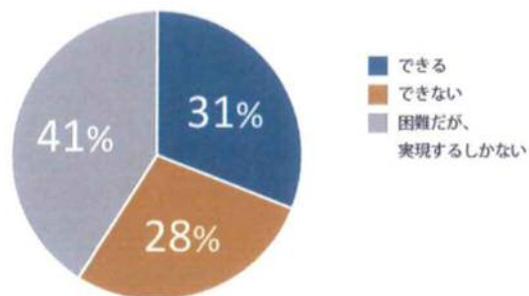


### 建設業界で週休2日は「困難」69%

Q1: 建設現場の「週休2日」は、実現できると思う?



施工管理求人情報サービスのC4(横浜市)はこのほど、現場のリアルな事情を知るために実施したアンケート調査の結果を発表した。それによると、建設現場で週休2日を「実現するのは困難」だと考えている人が69%にのぼることがわかった。若手就業者を確保するため、国や業界団体は「週休2日」を推進しようとしているが、実際の現場では難しいと認識していることがうかがえる。

「週休2日」を困難にしている理由としては、「工期が間に合わない」33%、「給与が減る」26%、「建設現場の古い固定観念」17%、「下請けの多重構造」13%があげられた。休みが増えると職人の手取りが減ってしまうことは、以前より問題点として指摘されており、週休2日の導入を「すべき」とした人が52%に対し、「選択制にすべき」という回答も42%にのぼっている。「休むか稼ぐか個人で判断したい」という意見がある一方、「強制的にでも導入しなければいつまでも週休2日にならない」という意見も寄せられた。

情報提供: 新建ハウジング

### 窓ブランド「TOSTEM」が復活 開発・生産・販売を一体展開

LIXILは5月15日、4月に始まったグループ全体の新しい中期経営計画に沿った窓分野の新しい事業戦略を発表した。デザインを核にしたブランド戦略を進め、「TOSTEM(トステム)」として再スタート。開発・生産・販売が一体となった新しい体制で商品開発を進めていく。生活者に選ばれる「強いブランド」を目指し、新生TOSTEMブランドの第1弾商品となる「LW(エルダブリュー)」を8月に発売する。



上下左右のフレームが室内から見えない  
フレームインデザインを採用した新商品「LW」

開発・生産・販売が一体となった新しい体制で商品開発を進めていく。生活者に選ばれる「強いブランド」を目指し、新生TOSTEMブランドの第1弾商品となる「LW(エルダブリュー)」を8月に発売する。



新事業戦略の1つ目のポイントは、生活者視点に立ったデザイン主導のアプローチの展開だ。新商品の「LW」は、室内側からフレームを見えなくしたすっきりとしたデザインを実現したハイエンド商品。生活者にわかりやすいデザインで、その価値を伝えていく。

情報提供: LIXIL・新建ハウジング

### 木造軸組工法のパネル受託製造の新会社「ウッドステーション」が設立

ウッドステーションは5月21日、第三者割当増資等を実施し、パナソニックアーキスケルトンデザインおよびYKKAPが新たな株主として加わりと発表した。同社は、三菱商事建材およびテクノエフアンドシーが共同で展開していた木造軸組工法受託製造事業をカーブアウトさせて設立した新会社。設立日は4月2日。今回の資金調達により、資本金・資本準備金は3億円となる

国内の新築住宅市場は、少子化と生産労働人口の急減により縮小傾向にあり、木造建築を手掛ける熟練工も減少を続けている。同社はこうした現状を踏まえ、木造軸組工法の受託製造(下請け)をプラットフォーム化。窓サッシ、断熱材などが一体成型された大型パネルを工場生産し、建築現場で組み立てて完成駆体(スケルトン)として提供する。1日で上棟以上を完工させることで、大幅な工期短縮とコスト削減を実現した。



大型パネルは在来軸組の柱、梁までを一体化

情報提供: 新建ハウジング